


# スマート・ターミナル・シティさいたま実行計画（さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム）

「市民のウェルビーイングな暮らしを実現するスマートシティさいたま」の構築に向け、AI等スマート化技術や官民データの活用により、地域課題・ニーズに対応しながら、駅を核としたウォカブルで誰もが移動しやすい、人中心に最適化された都市空間・環境「スマート・ターミナル・シティ」を形成

## 取組概要

### 駅を核とした「スマート・ターミナル・シティ」



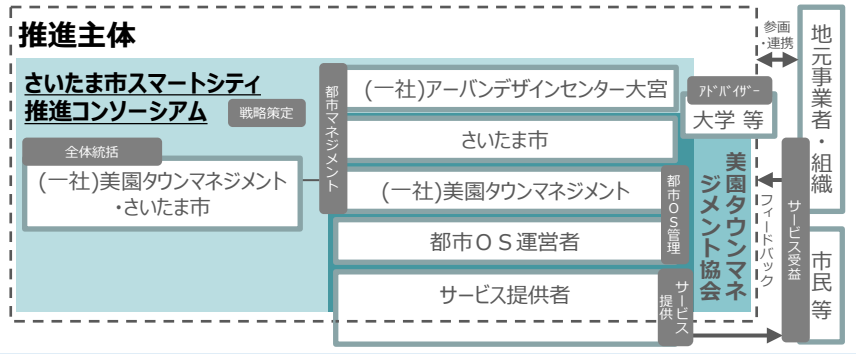
駅を核としたウォカブルで誰もが移動しやすい、人中心に最適化された都市空間・環境を構築

- ①モビリティサービスの充実（シェア型マルチモビリティ・AIオンデマンド）
- ②ライフサポート型MaaSの構築
- ③スマートプランニングによるウォカブルな都市空間・環境の形成

市内先行モデル地区での実践・成果を市内へ横展開

## 体制

「美園タウンマネジメント協会」と連携し、スマートシティ施策を統括・マネジメント。



## KPI (目標)

KPI	現況値	目標値
まちなかの滞留人口・時間	- (取組の中で計測)	- (取組の中で計測)
交通利便性への満足度	57.8% (R2)	64.0% (R7)
自動車分担率(市全体)	26.8% (H30)	現況からの減
グリーンポイント発行量	0ポイント	- (取組の中で計測)
店舗売上	- (取組の中で計測)	- (取組の中で計測)
身体活動量	- (取組の中で計測)	- (取組の中で計測)

## 将来イメージ



**郊外住宅地型モデル (中高密エリア・住宅地) (美園地区)**

- 地域資源を生かした外出機会創出
- スポーツチームとの地域連携による行動変容促進
- 駅周辺のウォカブル空間化
- 生活道路の広域化
- 水辺を生かした歩行回遊性向上
- MaaSによるシームレスな乗り継ぎ
- スマートな交通基盤整備
- ライフサポート型MaaSによるまちの賑わい情報発信 (商業、イベント等)
- スマートプランニングによるウォカブルな空間確保
- モビリティポートの最適配置
- シェア型マルチモビリティによる新都心との連携強化
- バスと連携したラストワンマイル交通の充実

**中心市街地型モデル (高密エリア・商業業務地) (大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区)**

※「大宮GCSプラン2020」のまの将来イメージより作成

## スケジュール

市内先行モデル地区で実証・実装。市内他地区・他都市へ展開。

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度～
<b>【施策①】モビリティサービスの充実</b>	シェア型マルチモビリティ実証実験 (中心市街地)				先行モデル地区での実装
	AIオンデマンド交通サービス実証実験 (郊外住宅地)				
<b>【施策②】ライフサポート型MaaSの構築</b>		モード間連携実証		市内他地区・他都市へ	
		商業連携実証			
<b>【施策③】スマートプランニングによるウォカブルな都市空間・環境の形成</b>		スマートプランニング高度化 (3D都市モデル活用含む)			
	空地、都市基盤等の計画				